

2024年5月24日

事務担当者様

日本ITソフトウェア企業年金基金

「仮想個人勘定残高のお知らせ」の送付について

平素より当基金の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
ます。

さて、当基金では、加入者の皆様に退職後のライフプランのご参考としていただくため、毎年5月後半に当年3月末時点の「仮想個人勘定残高」をお知らせすることと
しています。

本年につきましても、加入者個人ごとの2024年3月末時点の仮想個人勘定残高の
お知らせを各事業所宛に本日発送しますので、加入者の皆様に配付してまいります
ようお願い申し上げます。

なお、お知らせ記載の用語の説明および想定される質問に対する回答を次ページ
以降に掲載しましたので、ご参照いただければ幸いです。

〈お問い合わせ〉

業務グループ 電話:03-5114-5517(代表)

〈お知らせの見方〉

	2023年3月末 仮想個人勘定残高	当年度 持分付与額	当年度 利息付与額	2024年3月末 仮想個人勘定残高	2024年3月末 基準給与(参考)
第1年金	①	②	③	④	⑤
第2年金					

- ① … 昨年3月末時点の仮想個人勘定残高(個人別資産額)
 ② … 昨年4月～本年3月に増えた元本(全額事業主負担の掛金+移換した資産額)
 ③ … 昨年4月～本年3月に増えた利息(利率0%) ※利率0%のため、一律0円です。
 ④ … 本年3月末時点の仮想個人勘定残高(個人別資産額)
 ①+②+③ = ④
 ⑤ … 掛金算出の根拠となる基準給与
 第1基準給与 = 本年3月末時点の厚生年金の標準報酬月額
 第2基準給与 = 本年3月末時点の口数×1000(円)

〈用語説明〉

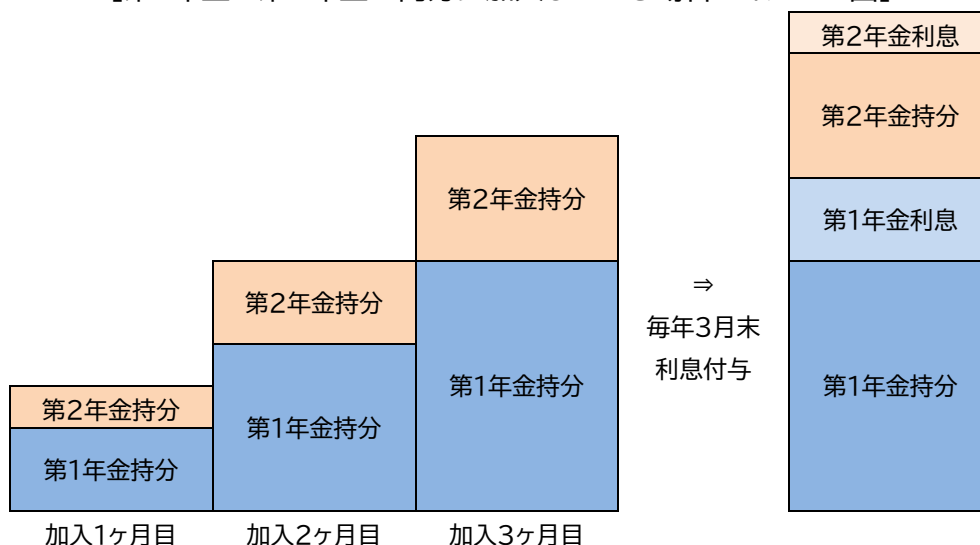
○仮想個人勘定残高

当基金には、「第1年金」と「第2年金」の2つの制度(掛金の算出方法)があり、事業所により ◇第1年金のみ加入 ◇第2年金のみ加入 ◇第1年金と第2年金の両方加入 というように加入状況の違いがあります。

「仮想個人勘定残高」とは、給付の基礎となる数値です。第1年金と第2年金それぞれに「第1仮想個人勘定残高」と「第2仮想個人勘定残高」があります。毎月事業主が基金に納付する掛金が加入者の仮想口座に持分として積み立てられ、毎年3月末に利息が付与されます。なお、掛金は全額事業主のご負担です。加入者個人のご負担はありません。

第1標準掛金	第1基準給与 (年2回厚生年金の標準報酬月額に連動して変更) × 1.1%
第2標準掛金	第2基準給与 = 口数 × 1000円 (口数は事業所の設定により1口～30口)

[第1年金と第2年金の両方に加入している場合のイメージ図]



退職などにより当基金の加入者資格を喪失すると、加入者期間(※)が3年以上ある方には給付を受ける権利が発生します。一時金として受け取る場合は、受給権発生時点の第1仮想個人勘定残高と第2仮想個人勘定残高の100円未満の端数を切り上げたものを合計した金額となります。

※関東ITソフトウェア厚生年金基金の分配金や他の年金制度の資産などを当基金へ移換した(持ち込んだ)方については、移換した資産の算定基礎期間が当基金の加入者期間と通算されます。また、当基金の一時金を受けるために必要な期間が「3年以上」ではなく、「1ヶ月以上」となります。

○当年度持分付与額

2023年4月分から2024年3月分までの標準掛金の合計額です。また、この期間に資産を当基金に移換した方は、移換した資産の額がこの額に含まれています。

[持分付与の例]

第1基準給与 2023年4月分～2023年9月分 320000円
2023年10月分～2024年3月分 340000円

$$320000円 \times 1.1\% \times 6ヶ月分 = 21120円$$

$$340000円 \times 1.1\% \times 6ヶ月分 = 22440円 \quad \underline{\underline{\text{計 } 43560円}}$$

○当年度利息付与額

毎年3月末に利息が付与されます。利息には、直前の利息付与日における仮想個人勘定残高に付与される第1利息と直前の利息付与日以降付与された持分付与額に付与される第2利息があります。

第1利息の計算式： $A1 \times B \times C1 \div 12$

A1：直前の利息付与日における仮想個人勘定残高

B：利息付与率(再評価率)

C1：直前の利息付与日の翌日の属する月から利息付与日の属する月までの月数

第2利息の計算式： $A2 \times B \times C2 \div 12$

A2：直前の利息付与日以降、利息付与日までに付与された持分付与額

B：利息付与率(再評価率)

C2：A2の持分付与額が付与された持分付与時の属する月から利息付与日の属する月までの月数

利息付与率(再評価率)は、前年1月から12月までの間に係る複合ベンチマーク収益率から0.5%を控除した率で、毎年4月に改定されます(上限5% 下限0%)。2022年1月から12月までの間に係る複合ベンチマーク収益率から0.5%を控除した率が-2.76%だったため、**2023年4月から2024年3月までの利息付与率は下限の0%です。利息が付与されず、一律0円となっています。**

〈FAQ〉

Q1 退職した加入者の「お知らせ」が届きました。

A1 「お知らせ」を作成したデータの基準となった届書の締切日は次のとおりです。

◆加入者資格の喪失および加入者氏名の変更 :5月1日までに受付

◆加入者資格の取得および基準給与の変更・訂正 :4月3日までに受付

退職した加入者の方の「お知らせ」が届いたとすれば、「加入者資格喪失届」を5月2日以降に受け付けたケースまたはまだ届出されていないケースと思われます。

加入者資格を喪失し、当基金の給付を受ける権利が発生した方には、「加入者資格喪失届」の届出から3～5週間後、資格喪失時の仮想個人勘定残高に基づき、給付のご案内をお送りします。

このたびお送りした「お知らせ」は不要ですので、破棄して差し支えありません。「加入者資格喪失届」の届出状況をご確認ください。

Q2 今年4月に入社した加入者の「お知らせ」が届いていません。

A2 このたびの「お知らせ」は2024年3月末時点の仮想個人勘定残高をご案内するものです。4月以降に加入者となった方の分は作成していません。

Q3 加入者期間が3年未満の者にも「お知らせ」が届きましたが、この者がすぐに退職した場合も給付が受けられるのでしょうか。

A3 当基金の給付を受けるには、原則として加入者期間が3年以上必要です。退職などにより加入者資格を喪失した時点で期間が3年未満の方は給付が受けられません。このたびの「お知らせ」は3月末時点の仮想個人勘定残高を把握していただくためのものであるとお考えください。

ただし、関東ITソフトウェア厚生年金基金の分配金や他の年金制度の資産を当基金に移換した方については、移換した(持ち込んだ)資産の算定基礎期間を当基金の加入者期間と通算します。また、当基金の一時金を受けるために必要な期間が「3年以上」ではなく、「1ヶ月以上」となります。

Q4 「2024年3月末基準給与(参考)」から算出した標準掛金の額に12を乗じ、1年分の掛金額を算出しましたが、「当年度持分付与額」と一致しません。

A4 第1年金および第2年金の変額コースでは、年2回、4月と10月に該当者に係る「基準給与変更届」の届出で基準給与が変更になることがあります。10月の「基準給与変更届」の届出で基準給与が9月以前のものから変更になっていないかご確認ください。

また、2023年4月から2024年3月までに資産を当基金に移換した(持ち込んだ)方については、移換した資産の額が「当年度持分付与額」に含まれています。